

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居前にご家族より本人の出身地や生立ち、仕事や趣味・楽しみ・嗜好を確認しているが、家族の思いと本人の現状とのギャップが大きい場合がある。意向の把握も困難なことが多い。	傾聴し、本人の意向や不満などを拾い上げていく。 自分発信できない方は職員が提供や支援の仕方を工夫していく。	散歩など1対1で関われる時間を有効に使い本人の様子・思いや意向などを随時確認していく。 花や作物を土作りから一緒に作業したり成長を確認しながら楽しみを増やしていく。	8ヶ月
2	26	随時変化する利用者に対する個々の介護計画やケアが追いついていない場合がある。 コロナ禍により家族との面会の機会がなく、家族の意向の変化をくみ取る場面が失われている。	利用者の変化には素早く対応し、よりよいケアを職員・専門職で協議を行い共有していく。 家族とも連絡を密に取り、本人の意向や家族の意向を都度確認していく。	利用者の観察は多くの目で行い、随時フロア責任者へ報告するようにする。受診その他の必要な対応を速やかに取ると共に分かりやすい情報の共有を徹底。 家族に報告と共に意向の確認を行っていく。	6ヶ月
3	35	災害時の対応はある程度共有化できているが、具体的なマニュアル化は出来ていない。 備蓄が切れた以降の対応についての対策は出来ていない。	災害時の具体的なマニュアルの整備(BCP)と職員間の共有。 自治会(自主防災隊)との連絡(協力)体制の整備。	具体的なBCPマニュアルの作成と職員全員への通知と理解。訓練の実施。 災害時の職員・利用者家族との連絡方法の整備。 地元自治会・自主防災隊との連携の確認。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。